

ニ艦隊の砲戦指揮、魚雷戦指揮共に電話により指導せられた

第六戦隊の隊内電話通信は見事に實施せられた

三敵信班の敵機動部隊艦船通信に對する傍受作業は極めて積極的に實施せられ作戦指導上有効であつた

第五項 第二次ソロモン海戦の通信

第一目 通信計畫

聯合艦隊第二段作戦通信計畫に準據し實施す

（詳細に關しては別項と重複するを以て省略す）

第二目 經過の概要

一八月中旬内海泊地を出撃嚴重なる電波管制を實施しつゝ南下す

ニ敵機動部隊の動靜を監視しありたる第一聯合通信隊は其の通信狀況

より敵機動部隊はハワイを出撃行動中にして二十四日頃ソロモン方

面到達の算ある旨判斷報告を發した

三八月二十四日〇二〇〇支隊分離南下

一〇三〇攻撃隊を發進、一二三〇ガダルカナル飛行場を攻撃した
 四本隊及前衛は〇四〇〇第一次索敵隊を發進せしめたが敵情を得ず一

二三八第二次索敵隊は敵大部隊を發見

一二五五 第一次攻撃隊

一三五五 第二次攻撃隊

を發進し敵機動部隊を攻撃した、第一次攻撃隊は敵を捕捉攻撃、第
 二次攻撃隊は敵に觸接せるものなり又第一次攻撃隊及KdB指揮官より
 第二次攻撃隊宛中繼せし敵狀に關する電報は同指揮官機受信せず爲
 に敵を捕捉せず重大戰機に敵を逸した
 其の他は概ね計畫通實施せられた。